

特集  
Special

レポート  
Report

インタビュー  
Interview

エッセイ  
Essay

レクチャー  
Lecture

オピニオン  
Opinion

TOP > レクチャー > 山下塾第4弾 我が国のテロ対策の現状と課題 > 山下塾第4弾 第2回 我が国のテロ対策の現状と課題

## 山下塾第4弾

山下 輝男

### 第2回 我が国のテロ対策の現状と課題

第2回 講座

テロの概念等に引き続き、所謂敵の可能行動脅威見積をしてみましょう。

#### 1 最近のテロ事件

第1回講座を配信後においてもテロ事件が頻発している。

#### 最近のテロ事案(報道ベース)



- ①ナイロビ、ショッピングモール襲撃・籠城  
死者 59名 9/21
- ②パキスタン ペシャワル 自爆テロ 75人死亡  
9.22
- ③イラク葬儀会場 爆弾テロ 65人死亡 9/21
- ④米:テロ拠点同時攻撃 リビア&ソマリア(10/7)
- ⑤イラク全土 爆弾テロ100人以上(10月前半)
- ⑥ガザからイスラエルへのテロ用(?)トンネル発見  
10月14日
- ⑦アフガン 東部ロガール州 爆弾テロ 知事暗殺

#### 2 我が国が直面するテロの脅威

世界で頻発しているテロは、非常に地域性が高い、欧米諸国がテロとの戦いを鮮明にしていることもあり、欧米の大都市もテロの危険性は高いと云えよう。一方、日本では、テロ組織が活動する土壌が希薄であり、政治的メッセージも乏しく、社会的均質性もあり、一般的にはテロは起きにくいと思われ、ともすれば対岸の火事視しがちである。

然しながら、起きないという保証はなく、また起きた時の被害の甚大さは途方もないだろう。日本が直面するテロの脅威を列記すれば以下の通りだろう。アルカイダ系のテロ事件としては、1994年の沖縄南方海上でのフィリピン航空の機内爆発により日本人1名が死亡し、2004年のワールドカップサッカー時にテロを計画したとのアルカイダ最高幹部の証言もありますし、日本への潜伏実績、度重なる出入国実績もあり、注意を要すると思われるべきでしょう。

### Ⅲ 日本が直面するテロの脅威は



- 1・北朝鮮が対日原発テロを計画していた。  
“日本列島に住めなくしろ”  
(元軍幹部の証言H25/5/29報道)
- 2 サイバーテロ  
重要インフラ、安全保障関連施設や企業等  
“マウス一回クリックで・朝飯前”  
(パネッタ米前国防長官発言)
- 3 アルカイード系によるテロにも要注意  
(名指しあり、潜伏実績もある)

#### 3 我が国周辺のテロ環境は？

小生が気にしておりますのは、北朝鮮と中国です。この両国は、各種テロを遂行しうる能力を十分に有しておりますし、且つ意図もあると考えて対応すべきでしょう。

#### 懸念事項

##### ①北朝鮮

- ・核の脅威: ダーティボム?  
(自爆テロ?) プラフ?
- ・BCの脅威: 化学剤=約2500~5000トン保有  
生物剤=15種類1トン/年能力
- ・特殊部隊等: 約18万人とも

JBpress拙論参照: 北朝鮮が仕かけるゲリラ・テロを撃破せよ!

<http://jbpress.ismedia.jp/articles/-/4774>

##### ②中国

- ・中国の網軍(ネット軍)  
人民解放軍総参謀部第3部=13万人とも  
隷下部隊に陸水信号部隊
- ・民間のハッカー集団: 紅客連盟等



2013/7/  
27

#### 4 その他の懸念事項

テロは日本では起こりにくい、或いは起きない、対岸の火事であると漠然と認識しておられる方が多いのではないのでしょうか？  
果たして、そうであると言い切れるでしょうか？  
グローバル化により情報は一瞬にして世界を駆け巡り、IT社会の利便性の負の面であるのですが、テロに係る色々な情報も入手することが、簡単に、誰でも出来るのです。  
特殊なイデオロギーに感化される者も輩出するかもしれません。ボストンマラソン爆弾テロリストは云わばホームグロウンテロリストと云ってもいいのではないのでしょうか？普通の市民がある日突然テロリストに変貌する可能性もありうるのです。  
日本の治安は良好だし、単一民族で均質な社会だしテロは起きないと言い切れるのでしょうか？  
そして、起きないと思われていることが実際に起きるとその被害は極めて甚大ですね。ブラックなスワンは生まれないかも知れませんが、生まれた時の衝撃は如何ばかりでしょう。  
想定外の事態が起こりうるのです。福島第一原発事故から私たちはそういうことを学んだ筈です。原発について言えば、後程触れることとなりますが、今回の事故でその脆弱性が露呈し、喫緊の課題として対策を講ずる必要性が叫ばれています。  
また、2020年に行われるオリンピックは万全でしょうか？世界注目のイベントでのテロ事案は絶対に回避すべきですね。今から色々な対策を打つべきでしょう。



### 懸念事項

- グローバル化により情報も知識も  
ホームグロウンテロリストは
- テロ＝対岸の火事視、テロは外からのみ??
- 東京五輪テロの可能性は?
- ブラックスワン論
- 福島原発事故から学んだ教訓は?
- 日本社会の安全性神話は健在か?
- 安全に対する先行投資の許容度?
- 福島原発事故で露呈した原発の脆弱性

以上みてきたように、私共はテロの脅威に直面しているといって過言ではないでしょう。これらのことを踏まえて、我が国のテロ対策を見てください。次回からテロ対策の現状を概観したいと思います。

### お勧め記事：[防衛駐在官と危機管理](#)

キーワード▶ [アルジェリア人質拘束事件](#)・[サイバー攻撃](#)・[テロ](#)・[テロ対策](#)・[地下鉄サリン事件](#)

いいね! 0

[INDEXへ戻る](#)

次の記事 [山下塾第4弾 第3回 我が国のテロ対策の現状と課題](#)

前の記事 [山下塾第4弾 第1回 我が国のテロ対策の現状と課題](#)

[ページの先頭へ](#)

関連サイト [防衛省](#) [統合幕僚監部](#) [陸上自衛隊](#) [海上自衛隊](#) [航空自衛隊](#)